

# 第 129 回秋期大会

## テーマセッションのテーマ案 募集

春秋大会でのテーマセッションは、基調講演と一般講演で構成され、充実した討論を通じた参加者相互の実りある情報交換の場を提供することを目的としています。

さて、この度、大会運営委員会では、第 129 回秋期大会（平成 27 年 11 月 21 日（土）～ 22 日（日）、日本大学 津田沼キャンパス）の大会の活発化を図る目的で、テーマセッションのテーマ案を公募することになりました。奮って応募ください。

応募いただいたテーマ案は、大会運営委員会にて、4 月中旬までにテーマ案採択可否を決定のうえ、5 月末 HP 掲載、5、6 月号会誌「軽金属」で講演募集を会告する予定です。

### 【第 129 回秋期大会テーマセッション応募内容】

- ・ 提案テーマ案名
- ・ 提案趣旨（400 字以内、下記参照）
- ・ 世話人氏名・所属

### 【応募方法】

上記内容を、「第 129 回秋期大会テーマセッション応募」と明記して、3 月 27 日（金）までに、事務局長 [ishikawa@jilm.or.jp](mailto:ishikawa@jilm.or.jp) 並びに

大会運営委員長 [matsuda@eng.u-toyama.ac.jp](mailto:matsuda@eng.u-toyama.ac.jp) 宛にお送りください。

～～～提案趣旨例～～～

テーマ 「アルミニウム中の水素の分析技術」

趣 旨 アルミニウムおよびアルミニウム合金中の水素は、ミクロポア中にガス状または格子間に原子状態で存在し、材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼすことが知られており、アルミニウム中の水素量および存在状態の最適化が不可欠となる。そのためには水素量を正確に測定する必要があるが、水素量の測定方法にはいくつかの手法があり、測定方法や前処理条件により測定値が異なる傾向があることが知られている。平成 23 年度に発足した「アルミニウム中の水素研究部会」ではアルミニウム中の水素量測定法の信頼性向上のため、測定装置間の比較、前処理条件、校正の影響に関して検討を行ってきた。本テーマセッションでは、本研究部会での検討結果を報告するとともに、アルミニウムの諸物性に及ぼす水素の影響とその分析手法に関する研究発表を広く募集する。

世話人 児島洋一（UACJ）、伊藤吾朗（茨城大学）、梅田秀俊（神戸製鋼）